

2

まちなか

まちなかの価値を高め、
土地利用の可能性を広げる試みを実行します

津駅周辺

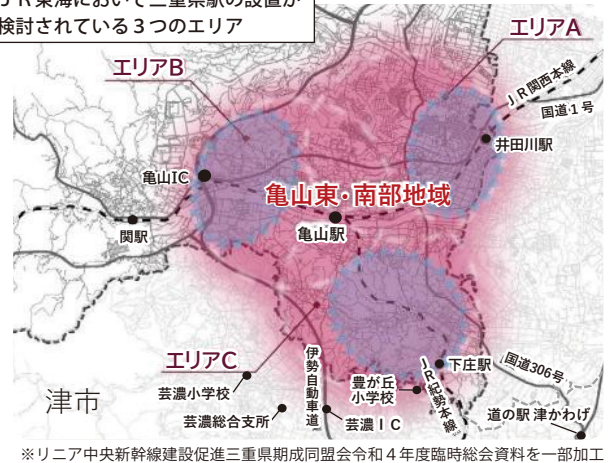
津駅周辺は、駅から放射状に広がる**津駅周辺道路空間整備広域ネットワーク**の構築に取り組みます。**津駅東口**は**バスタプロジェクト**が着実に事業化されるよう国や県と連携を密にし、回遊性の強化やにぎわいを継続していく仕組みづくりの検討を進め、**津駅西口**の整備に向けては、令和4年度から取り組んできている基本構想の策定を完了させ、地域意向の確認に入ります。同時に、生まれ変わった津駅とそれにつながる道路網が相互に機能を発揮できるよう、津駅とつながる広域的な道路ネットワークづくりを**先行**して進めます。大谷踏切の拡幅によって新たに生まれる車の流れ、それにつながる三重県が建設する志登茂川河口架橋の完成を最大限に生かした車の流れをイメージし、津駅前と志登茂川河口架橋を結ぶ「**津駅前線**」に加え、リニア中央新幹線の三重県駅も見据え、「**広明町河辺町線**」および「**内多清水ヶ丘線**」も拡幅してまいります。また、津駅北において鉄道と立体交差する「**下部田垂水線**」については、構想の具体化に向けて動き始めます。

津駅周辺道路空間整備
広域ネットワーク



リニア中央新幹線の三重県駅の開駅は、津市の新たな可能性を拓きます。津市、鈴鹿市、亀山市の市民にとって利便性が高く、地域経済の活性化につながるような三重県駅を中心とした**広域的な都市づくり**に対する意識を深め、鈴鹿市、亀山市と連携しながら**市境にとらわれない**まちを展望し、実現に向けた取り組みを進めてまいります。

JR東海において三重県駅の設置が検討されている3つのエリア



※リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会令和4年度臨時総会資料を一部加工

大門・丸之内地区

大門・丸之内地区は、**未来ビジョン**に基づく新たなまちづくりに挑戦します。**エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」**を主体に、立町・大門大通り商店街の道路や丸之内商店街エリアの国道23号を活用した恒常的な人の流れやにぎわいを創出するトライアルな取り組みを開始するとともに、**津城跡**については、未来にどのような姿を引き継いでいくのか、まずは、ホームページや広報津を通じた情報発信を行い、市民等から意見を伺いながら検討を進めてまいります。そして、中長期的な視点から地権者等の将来的な意向を踏まえたまちの実現に向けて**都市計画を見直し、多様な土地利用を可能**にします。



3

未来の安心

森林や農地を次世代に引き継ぐとともに、
新しい産業用地をつくります

農地

令和5年度から将来における地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化する「**地域計画**」を定めることとなりました。津市は令和6年度までの2年間で農業者、関係機関等と協議を重ね**168地区**で計画を策定し、それらを実行に移すことで新規就農や経営継承等への支援を促進し、**担い手の確保・育成**を行ってまいります。